



島根県立三刀屋高等学校 掛合分校

校長発 『ほんりゅう』

【3月号②】令和7年3月21日



■“初めて”との出会い

※本稿は令和6年度「海外研修旅行記録集」(令和7年3月発行)に寄稿したものを一部改題したものです。

今年度、コロナ禍により延期となっていた2年生「台湾研修旅行」を10月24日(木)～26日(土)の日程で無事実施することができました。研修旅行実施にあたっては、雲南市役所の皆様、JAや宇山営農組合ほか関係各機関・団体の皆様、地域の皆様、保護者の皆様に多大なご理解とご支援をいただきましたこと、まずもって御礼申し上げます。ありがとうございました。

掛高では、1998(平成10)年に海外研修旅行を開始し、訪問先をシンガポールとして4泊5日の研修旅行を実施してきました。その後20年が経過し研修内容等を検証するなかで、掛高が取り組んでいる「雲南のお米を応援するプロジェクト」といった地域をフィールドとした探究活動との関連も期待できる台湾に訪問先を変更し、2020(令和2)年からの実施を予定していました。しかし、コロナ禍による海外渡航自粛期間もあり実施を延期せざるを得ない状況となっていました。台湾に訪問先を変更して初めてとなる海外研修旅行、また数年間のブランクもあいまって、生徒の皆さんはもとより我々教職員にとっても一からのスタートとなり準備段階において戸惑う点も多くありましたが、雲南市役所、また雲南市PR大使を務めていらっしゃる林 定三様(鼎三国際企業有限公司会長)からの力強いバックアップをいただき、真理大学訪問や台北101タワー横に位置するショッピングモール微風南山店でのお米販売、現地小・中・高校生との交流活動等充実した研修内容を順調にこなすことができました。改めて感謝申し上げます。

2泊3日という短い日程の中、また台風等の影響により雨に降られる場面が多くありましたが台湾の皆さんのエネルギーなおもてなしに引きずられるかのように、生徒の皆さんが日に日に成長していくようすを目の当たりにすることができました。初めての飛行機、初めての外国等“初めて”が多くあった生徒の皆さんもいたのではないのでしょうか。これまで写真や映像等でのバーチャルな体験はあっても、その地をリアルに訪問することによって初めてわかることもあります。その地で感じる空気感や人々の生活感、食べ物の味やにおい、あるいは会話の間合いといったものは、バーチャルでは味わいにくいものです。また、海外研修旅行というリアルな体験は、日本にいと実感しにくい日本文化やコンテンツの魅力を再発見できる機会でもあります。例えば日本のアニメは、海外で高い人気を誇り今や立派な日本文化となっています。もちろん台湾でも日本のアニメは大人気なので、アニメの好きな人は、共通の話題によりあっという間に初めて接する人との距離感も縮まったのではないのでしょうか。

今回の台湾研修旅行における多くの“初めて”との出会いは、皆さん一人一人の持っている可能性を広げる契機になると思います。様々な“未知との遭遇”は、他人やモノに対してだけではなく、自分も知らなかった自分のポテンシャルとの“初めて”の出会いになるはずです。台湾研修旅行でのリアルな体験が、今後の人生の糧となることを期待しています。



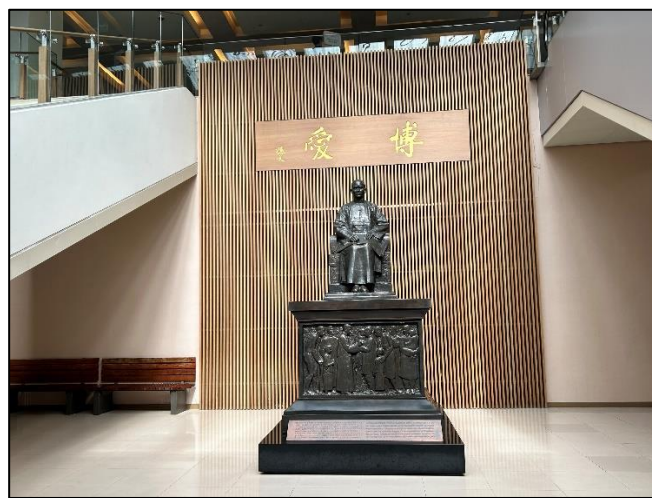
「微風南山 (Breeze NAN SHAN)」でのお米販売



華西街観光夜市



忠烈祠



故宮博物院



台北 101 タワー



九份



十分